

初めて小・中学校の教職員として採用された初年度から、2年目、4年目、5年目、10年目、と経験年数に応じた研修は、府や市教育委員会が主催し、系統的に教職員のスキルアップを図っています。

子どもたちが安心して学び、健やかに成長できるよう、小・中学校の教職員もさまざまな研修に取り組んでいます。社会が大きく変化し、先の見通しが難しくなっている今、学校教育も新しい課題に直面しています。1人1台端末（クロムブック）が導入されたことで加速したICTの活用、SNSなどの普及で複雑化するいじめ問題、さまざまな背景を理由に増加している不登校児童生徒への対応、個々の特性と状況に応じた支援教育の推進など、教職員が身につけるべき知識や技術の範囲はとても広くなっています。

～子どもたちの安心と明るい未来社会の実現に向けて～
学び続ける専門職

NOW

問合先
学校教育課
 493-2091



學校園紹介



妙光寺と観月祭 ～新池中学校～

新池中学校の校区内にある妙光寺では、毎年10月に「観月祭」という行事が開催されています。寺の境内に竹灯籠が飾られる美しいイベントです。

竹灯籠とは、たくさんの穴を開けた竹の内側に灯りを入れた灯籠で、大小の穴が光の点となり、その光が連なることによって、模様や文字などが美しく浮かび上がります。約千本の竹灯籠が幻想的な風景を生み出します。



この観月祭に本校の生徒たちが毎年参加しています。これまでも、子どもたちが制作した竹灯籠や、絵を描いた和傘などを飾っていただきました。

——チームがソーラン節を踊らせていただいたのですが、地域のみなさんからの大きな拍手に子どもたちの笑顔も竹灯りに負けないぐらい輝いていました。650年の歴史をもつ妙光寺と、未来の創り手である子どもたちが、竹灯りの温かい光に照らされながら豊かにつながるその景色は感動的です。

古き良き港町の情緒と、世界に開かれた空港都市の活気が調和する泉佐野市にふさわしい、過去と未来を結ぶ素晴らしい地域行事です。

地域とのつながり ～日根野中学校～

日根野中学校では、自分たちの地域のことをより知つていこうと、校区内のフィールドワークを行つています。意賀美神社や井川、日根荘など地域の重要な文化財などから歴史や文化を学ぶとともに、地域で仕事をしている人からの話を聞き、自分たちの暮らしを地域を大切にしていくことを学んでいます。

ている人にらの話を聴き、自分にらの育った地域を大切に思う気持ちを育てていきたいと考えています。

グループごとにコースを決め、それぞれの場所を訪れ地域の人からその場所にまつわる歴史的な話や仕事に対する思いなど聴かせていただくことを通して、地域の人たちとの交流にもなっていると考えています。また、地域の中を歩くことで、地域の風景や日常の様子などにも触れることがあります。



実際にフィールドワークを行った後は、気づいたことや感じたこと、学んだことをまとめ、地域への発信につなげています。

A large blue stone lion (shishi) statue is positioned in front of a building with a tiled roof. The building has a plaque with Japanese characters. The statue is facing right.

